

職業講話（片浜小学校）

と き	令和元年 9月 18日（水） 13:30～14:30
と ころ	片浜小学校 体育館
対 象	6年生（65人）
内 容	「12年後の自分を思い描く」授業の一環として、職業への興味と関心を高め、自分の夢や仕事を思い描く学習をしています。男だから女だからと決めつけない、自分らしくやりたいことに取り組みることの大切さについて考える機会として、協力事業所（3社）による職業講話を行いました。



【ホテル沼津キャッスルの方】

当ホテルでは女性も働いており、主に結婚式の計画などを担当しています。男性女性とも、地域のために働いています。子どもの頃に学んだ「物を大切にする」という心情は、今も仕事の中で生きています。人はひとりひとり違った性質を持つので、前向きに仕事を考えてほしいです。



【消防士の方】

駿東伊豆消防本部では、女性の消防士もいます。消防士になったきっかけは、体を動かす仕事がしたいと思い、人の命を助ける仕事に憧れたからです。やりがいは、小さな子どもたちに好かれることです。自分自身の夢をあきらめずに、全力で頑張ってください。



【保育士の方】

保育士は子どもと遊ぶだけでなく、親御さんへのお手紙やお見送りの仕事です。男性保育士でも、おむつ替えやミルクをあげるなど男女関係なく仕事をしています。また、ダイナミックに遊ぶこともできます。男性女性どちらの良いところを活かしながら、保育の仕事をしています。

子どもたちの感想

- 私も失敗しても好きでいられて、誇りに思えるような仕事に就きたいと思いました。
- 消防士の仕事を聞いて、諦めないでいろんなことに挑戦して行きたいなと思いました。
- 保育士さんのイメージは優しい女性の先生だったので、男性の先生が3%いることに驚きました。
- 知らないところで、いろんな人が頑張っていてすごいと思いました。職業の幅が広がって、とてもよかったです。